

## 雄勝石



雄勝石は古生代二畳紀(2・3億年前)に属する黒色硬質粘板岩であり、その特性は純黒色で、圧縮・曲げに強く、吸水率が低いため、化学的作用や永い年月にも変質しない性質を持っています。その化学的作用や永い年月にも変質しない性質を持っています。特性を生かし600年以上前から硯の原料として利用されています。明治・大正期には、和洋問わず多くの建物の屋根材として雄勝石明治・大正期には、和洋問わず多くの建物の屋根材として雄勝石のスレートが採用されており、その中には東京駅の駅舎も含まれ、のスレートが採用されており、その中には東京駅の駅舎も含まれ、今もなお建築物としてその美しさをとどめています。

今もなお建築物としての夫しとところでは、カー 現在は、ライフスタイルに合わせたクラフト製品の製造や、テー 現在は、ライフスタイルに合わせたクラフト製品の製造や、テー ブルウエアの開発にも力を入れており、雄勝石を加工した石皿は 国内外からも食器として高い評価を頂いております。

権利者 :雄勝硯生産販売協同組合

指定商品:宮城県石巻市雄勝町から産出する黒色の粘板岩、宮城県石巻市雄勝

町から産出する黒色の粘板岩を原材料とする石材